



▲北國新聞記事
 (2021年4月19日付)

加賀市医療センター クラスタ認定
 18日に公表した18人のうち1人はさらに1人の感染も公
 ち、医療従事者1人と患者1名を要しており、累計13人
 2人が加賀市医療センター。要津神経サナリウム
 で集団感染した。県内42例目、病院で9例目（小松市）では1人の感染
 目のクラスター（感染者3名）が判明し、累計13人とな
 団に認定した。同センターは、クラスターと感染病
 を要する3人は、感染者の調
 査対象者である。
 18人は10〜90代以上で
 中野野1人、野野が2人、
 状が1人、県立者に通う
 10代と高校生、大学生を
 含む。居住場所は金沢市
 と加賀市が各5人、小松市
 3人、白山市2人、野々市
 市と加賀市、内野野が各1
 人となっている。



COVID-19 クラスタ発生を 経験して



病院長 小橋 一功 (こはし かずのり)

令和に改元された年末に中国武漢で新型コロナウイルスが
 発生し、早一年半が過ぎようとしています。今も世界を席卷す
 るパンデミックの状態は続いています。パンデミックは文化も歴
 史も変えると言われるように、最近ではこの日々を「歴史上の点
 に過ぎない」のかと、終息までの考え方も変容しつつあります。

さて、石川県では昨年2月に1例目の感染者が発生し、県から
 当加賀市医療センターに陽性者の受け入れが要請されました。
 同4月から入院を受け入れ、今日まで5歳から105歳までの120
 人以上の患者さんが入院加療されています。当院は開院して5
 年間、全室個室という環境設備もありますが、感染管理室の主
 導、細心の注意を払ってインフルエンザやノロウイルスなど院
 内感染ゼロを達成してきました。

しかし、この注意や対策をもっても残念ながらこの4月にクラ
 スタが発生してしまいました。クラスタ発生はコロナ感染症
 患者の専用病棟ではなく、一般の病棟からでした。新型コロナ
 ウイルスは重症化する方もおられる一方、無症状やごく軽症の
 方も多いのが特徴で、症状が出る前から感染力があるという厄
 介なウイルスです。病棟スタッフの一人が微熱と風邪症状があ
 り、念のためにとPCR検査を行ったところ陽性反応を確認した
 ため、当該病棟の患者さんとスタッフ全員にPCR検査を実施し
 た結果、患者さん2名、病棟スタッフ4名の陽性が判明しました。
 当該病棟は隔離し、患者さんとスタッフには順次追跡調査とし
 てPCR検査を行い、患者さん3名、スタッフ1名、またご家族2名



の計13名のクラスタ
 となりました。感染した
 患者さんはコロナ専用
 病棟に転棟し、スタッフ
 も入院しました。

クラスタ発生の翌日から3日間
 をかけて病院全職員のPCR検査を
 行い陰性であることを確認しましたが、職員にはより厳しい行動
 制限を求めることになりました。幸い当該病棟以外から感染者
 が出ることはなく3週間余りで収束することができました。しかし
 ながらこの間、救急外来の停止、入院の制限、外来診療の制
 限など、患者さん、市民の皆さん、周辺の医療機関に多大なご迷
 惑をおかけすることになったことは言うまでもありません。

コロナウイルスは感染すると体内で爆発的にウイルスを複製
 し、この時一定の確率で突然変異が起こると言われています。現
 在まで100万通り以上のゲノム(遺伝情報)が登録されていま
 す。つまり日々変異しているということの裏付けであり、この中
 より感染力(伝播力)の強い変異株が生き残っているわけです。
 第4波といわれる感染拡大は従来型より感染力の強い英国型
 変異株によるものとされ、更に感染力が強いとされるインド型
 変異株の市中感染も確認されているようで、もはや1年前の「3密を
 避ける」だけでは感染を避けられないとも考えられています。

遅ればせながら、今 国を挙げてワクチン接種を加速させよう
 としています。いずれのワクチンも武漢型の遺伝情報をもとに
 作成され変異型のウイルスにも一定の効果はあるという朗報を
 得つつ、どこまで効果があるのかは今後の状況を詳細に見ない
 と解らないのが実情と思います。そして世界のどこかで流行し
 ている限り新たな変異株が出現し続け、ワクチンが効かない変
 異株が生じる可能性も否定できません。歴史上の点はまだまだ
 グレーのようです。

ワクチンを接種すればもう安心というわけにはいかず、ワクチ
 ンを過信し気が緩むと再び感染拡大をきたす可能性は十分あ
 ります。当分の間は、感染防御・対策を徹底することが必要かと
 思います。

クラスタはどこでも起こりうる肝に銘じて。

感染管理室より



4.17クラスター発生を境に、病院の日常は一変しました。南加賀で新型コロナウイルス感染症拡大の緊張が高まる中「とうとう来た…」激震が走りました。

早々にクラスター対策チームが結成され、情報収集と検査対象者の洗い出し、診療制限の範囲決定と感染対策強化、院内・外に向けた情報発信、日々状況に応じた判断と情報発信を繰り返してきました。石川県クラスター班からは、組織作りやスクリーニング検査体制の提案、職員の感染連鎖を防ぐには個食・黙食の徹底が要であることを指導されました。具体的なアドバイスは、組織が一丸となる追い風になりました。

体調不良者が速やかに受診していなければ、まだまだ発見は遅れていたかもしれません。今回、集う場面やマスクがしっかり装着されていなかったことがリスク因子となっていました。感染対策の徹底は勿論ですが、全室個室であることや市中からの持ち込み感染が重ならなかったことは、感染経路が複雑化せず、短期間での収束に有効だったと考えます。地域の方々のご協力に感謝いたします。

『今までは大丈夫だった』が通用しない、感染力の強さを感じます。今は、速やかに、ワクチンという鎧が人々に行き渡ることを願うばかりです。

実施した感染対策

交差感染防止 人(物)から人への感染を防ぐ

人・物の動きを最小限に

情報共有 正しい知識の共有／清潔・不潔の概念

ムリせず行える方法に業務改善
職員数が減ることに対する業務負担軽減を考える

◆ 個室ごとに防護具着脱・手指衛生徹底

PPE着脱トレーニング、記録室へ入る前に手洗い



◆ ゾーニング

◆ 人の出入りを制限する

◆ 物の管理

共有物の清拭消毒・配置場所

◆ 清掃消毒方法の変更と徹底

◆ 日々追加・変更になるルールの共有
ポスター・書面・LINE

◆ 集団となる場所の利用停止

患者：ラウンジ、記録室周囲に集まらない、リハビリ、介助浴中止

職員：自部署で更衣、個食、夜勤の休憩は個室

PCR検査 実施状況

検査日	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/22	4/23	4/27	5/2	5/7
対象部署	接触部署	接触部署	全職員			接触部署	接触部署	接触部署	接触部署	接触部署	接触部署
対象者数	135	107	77	246	188	36	129	91	144	64	54
陰性	128	106	547				126	91	144	64	54
陽性	7	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0

院内に新型コロナウイルス迅速PCR検査機器を導入

当院では、2020年10月中旬より自動遺伝子検査装置を導入しました。現在は、入退院前検査・発熱外来・救急外来・術前検査でPCR検査を実施しております。感染拡大を防止するためには、迅速なPCR検査を行うことが大変重要と考えています。PCR検査機器は、7検体を同時に測定できる装置1台と、緊急検査に対応できるよう1検体のみを測定できる装置1台と併せて2種類の機器を導入いたしました。この2台の組み合わせで1日に数十件の検査が院内でできるようになりました。検査結果も最速約15分で判定できることは大変有用です。感染の有無を素早く確認することで次の検査や処置を行えるため、臨床からも高い評価を得ています。今後も感染予防・感染拡大防止に有用な手段の一つとして活用していきたいと思っております。



6月

麻酔科外来（ペインクリニック） スタートしました！

痛めてお悩みの方は
麻酔科外来（ペインクリニック）
予約受付中

症状や身体所見から多角的に痛みの原因を診断し、薬物療法だけでなく神経ブロックを始めとする各種の治療法を駆使して痛みを軽減、消失させQOLを向上させます。

麻酔科部長 中村 勝彦



○専門分野
・公益社団法人日本麻酔科学会 麻酔科指導医・専門医認定
・一般社団法人日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医

○診療日
月曜日・水曜日・金曜日（祝日及び12月29日～1月3日除く）

午前8時30分から11時30分まで（紹介予約制）



加賀市医療センター
KAGAMI CITY MEDICAL CENTER
〒922-8522
石川県加賀市内見町36番地
TEL: 0761-76-5132
FAX: 0761-76-5161
(地域連携センター7F)

基本 理念

「おもいやり」

私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります

基本 方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
1. 救急搬送をことわらない体制を目指します
1. 将来を担う優れた医療人を育成します
1. 地域に根付いた医療を実践します

編集後記

COVID-19の全国的拡大の中、2021年度が始まりました。COVID-19の対応に追われる日々はまだ続きそうですが、気付けば春から初夏へと季節は移ろっていました。コロナ禍で顔のみえる連携が難しい今、この広報誌の果たす役割を再認識しています。

発行 加賀市医療センター 地域連携センターつむぎ
〒922-8522 石川県加賀市作見町36番地
TEL 0761-72-1188 (代表) TEL 0761-76-5133 (直通)
E-mail renkei@city.kaga.lg.jp http://www.kagacityhp.jp

